

第七十三回帝國議會
衆議院

日滿司法事務共助法案外三件委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十三年三月十二日(土曜日)午後四時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松永 東君

理事內藤 正剛君 理事原 玉重君

理事田中 亮一君 理事中野 治介君

原 夫次郎君 南雲 正朔君

伊藤 五郎君 今成留之助君

江原 三郎君 松川 昌藏君

高見 之通君 匹田 銳吉君

稻田 直道君 長谷 長次君

中村 高一君 小山 亮君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 久山 知之君

司法省民事局長 大森 洪太君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省調査部長 井上 登君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○松永委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日マデニ質疑ハ終了致シテ居リマスノデ、是ヨリ討論ニ入リタイト思ヒマス、先ヅ日滿司法事務共助法案外三案ヲ一括上程シテ討論ニ入リタイト思ヒマス

○内藤委員 説明ノ便宜上日滿司法事務共助法案ヲ第一ニ申上ゲルコトニ致シマス、此案ニ對シマシテハ、貴族院修正ノ通りヲ承認シテ、左記附帶決議ヲ附シテ、原案ニ贊成致シタイト思ヒマス

附帶決議

一 勾引狀執行ノ共助ヲ受ケタルトキハ刑事訴訟法人權尊重ノ精神ニ則リ本法第三條ヲ活用シ其ノ實ヲ擧クヘシ

二 前項ノ趣旨ヲ體シ速ニ明治四十四年

法律第五十二號司法事務共助法並ニ本法ノ改正ヲ爲スヘシ

以上ノ附帶決議ヲ附シマシテ、貴族院修正ノ通り、其他ハ原案ノ通りニシテ贊成スル譯デアリマス、其理由ハ、過日來此委員會ニ於テ詳細各委員カラ質疑サレ、政府ハ之ニ對シテ、應答サレタノデアリマス、而シテ此法文ノ上ニ於テ、其法文ノ活用上將來遺憾ノ點ナキヲ期スル爲メ、又人權尊重ノ聲ハ本會議ニ於テモ、其他ノ機會ニ於テモソレト揚ッテ居リマスカラ、私共ハ之ヲ考慮致シタ譯デアリマス、何卒政府ニ於カレマシテモ、委員會ノソレトノ質疑應答ニ付テハ、十二分ニ御尊重アラシコトヲ望ミマシテ、之ヲ以テ本案贊成ノ討論ト致シマス

其次ニハ民法中改正法律案デアリマス、是ハ原案ヲ其儘承認致シマス、但シ希望條項ヲ附ケテ置キマス

希望條項

將來根本的ニ民法改正ノ際ハ短期時效制

定ノ趣旨ニ鑑ミ第百七十四條ノ二ニ規定セル確定權利ノ時效期間ニ關シ相當考慮スヘシ

此希望條項ヲ附シマシテ、原案ニ贊成スル譯デアリマス、一言茲ニ附加ヘテ置キマスガ、時效制度ノ出來タ法律制定ノ理由等ハ、諄々シク申シマセヌ、委員各位ハ多ク辯護士ノコトデアリマスノデ、申上ゲル迄モアリマセヌ、併ナガラ私共ガ原案ヲ認メマシタカラト云ッテ、決シテ資本家擁護ノ立場ニハ居リマセヌ、今マデ裁判所ニ現レタル統計ニ依ッテ見マシテモ、事件ノ短期時效ニ該當シテ居ル所ノ事件ノ數並ニ金額等ヲ彼此對照致シマスルト、其現レハ中小商工業ニ澤山其支障ノ現ハレガアルノデアリマシテ、殊ニ時效期間内ニ訴訟マデ起シテ、確定判決マデ得タモノヲ、色々議論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角時效中斷ノ方ハ民法ニハ炳トシテ書イテアリマス、催告ニ依ルトカ、差押ニ依ルトカ云フコトガ書イテアリマスガ、動モスレバ行方ヲ晦マズ人

付託議案

日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

等ガアリマシテ、意思表示ニ關シテハ今度特別ノ規定ガ出來テ居ルノデアリマスケレドモ、甚ダ如何ハシイ現象ヲ吾々ハ見ルノデアリマシテ、少クトモ權利主張ノ觀念ハ從來ヨリ強クナリ、義務ノ觀念ハ近來非常ニ劣ルノデアリマシテ、私共ハ一面ニ於テ義務ノ履行ヲ認メルト云フ觀念ヲ養ハナケレバナラヌト思ヒマス、又確定判決ニナツテ居リマシテモ、議論ガアリマス、金錢債務調停、其他商事調停等色々ナ調停法ニ依ツテ緩和スル規定モ澤山アルノデアリマスケラシテ、私共ハ將來少シ長イヤウニモ考ヘテ居リマスケレドモ、折角貴族院カラ廻ツタノデアリマスケラ、殊ニ日モ短イコトデアリマスケラ、將來此根本問題ニ付テハ政府當局ニ信賴シ、特別ニ御考慮ヲ願フコトト致シマシテ、先程申上ゲマシタ希望條項ヲ附ケ、サウシテ其希望條項ヲ附ケタ事柄ハ、資本家擁護ニアラズ、又從來動モスレバ義務觀念ノ廢ツテ居リマスケラ、ヤハリ義務觀念ハ何處マデモ確定判決ヲ受ケル時マデ付ケテ置ク方ガ宜イノデハナイカト云フコトデ、少シ長イト云フ氣持モゴザイマスケレドモ、此度ハサウ云フ趣旨ニ於テ贊成ヲ致シタ譯デアリマス、以上ハ民法ニ對スル討論デアリマス

次ニ民事訴訟法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、是ハ原案其儘ヲ希望條項モ何モ附ケマセヌ、此儘承認致シマス、外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案、是モ原案其儘ヲ認メルトニ致シマス、以上ヲ以テ私共ノ討論ヲ終リマス(拍手)

○中野委員 日滿司法事務共助法ハ、日滿ノ特殊關係ニ顧ミマシテ適正ナ法律ト考ヘマス、ソレカラ民法、民訴法ニ付キマシテハ、内藤委員ヨリ説明セラレマシタト同一デアリマスケラ、之ヲ採用致シマシテ重ネテ申上ゲマセヌ、唯民事訴訟法ノ中デ二百三十六條ノ「三月」ト云フ期間ハ長キニ失スルヤノ感モアリマシ、其觀點カラ致シマスレバ、多少ノ議論モゴザイマスガ、今マデ無キ缺陷ヲ補フト云フ意味ニ於キマシテハ、無キニ勝ルト云フ見地カラ致シマシテ、其他ハ内藤委員説明ノ如キ意味合ニ於キマシテ、贊成スル次第デアリマス、其他一切同一意見デゴザイマスケラ、採用致シマシテ省略致シマシテ贊成致シマス(拍手)

○長谷委員 第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、日滿司法事務共助法案外三件ニ付キマシテ討論ヲ申上ゲマス、私共ハ此日滿司法事務共助法案ノ貴族院ガ修正ニナリマシタ其修正案ニ對シマシテ、贊意ヲ表スル者

デアリマス、此案ノ實施ニ當リマシテ、吾々ノ意圖スル所ハ、過日質問ニ藉リマシテ、政府當局ニ御尋申上ゲタ所デアリマシテ、茲ニ其際ノ私達ノ意嚮ヲ採用致シマシテ、希望ト致シテ置キマス、其他ノ三案ニ付キマシテハ、何レモ此提出原案ニ贊成致ス者デアリマス、是ニテ私ノ討論ヲ終リマス(拍手)

○中村委員 私ハ民法ノ中ニアリマス時効ノ改正ニ付テダケ、意見ヲ述ベタイト思フノデアリマス、其他ニ付テハ別ニ意見ハアリマセヌ、私ハ詳シイコトハ申上ゲマセヌガ、確定判決ニ依ツテ確定致シマシタ權利ガ、一様ニ十年ニナルト云フコトニ付テハ、吾々ハ同意スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、其一ツノ理由ハ時代ニ逆行スル所ノ改正デアルト云フコトガ一つ、モウ一ツハ提出方法ニ異議ガアルト云フ二點デアリマシテ、内藤サンカラモ御意見ヲ承ツタノデアリマスルガ、私ハ別ニ借金踏倒シノ思想ヲ善シトスル者デハ斷ジテナイノデアリマシテ、此點ニ付テハ明確ニ致シテ置キタイト思フノデアリマス、債務ヲ支拂フコトハ固ヨリ當然デアリマシテ、如何ナル理由ニ依ツテモ借金踏倒シヲ可トスルヤウナ考ヲ持ツテ反對ヲ致シテ居ルノデハナイノ

デアリマス、今日事變、或ハ色々經濟情勢ナドカラ致シマシテ、債務者ニ對シテ之ヲ救済スルト云フヤウナ法案或ハ政治上ノ議論ナドガ今日澤山出テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ時勢ニ當リマシテ、短期時効デアツモノヲ、一様ニ十年ニセラレルト云フコトニ付テハ、其利益ヲ受ケマス者ハ債權者デアルト云フコトハ論ガ無イト思フノデアリマシテ、特ニ吾々ガ反對ノ意思ヲ此點ニ付テ表明致シタイノハ、一ツノ社會的意義ヲ有スル所ノ債權デアリマスル小作料、地代、家賃ニ付テ、私ハ少々ノ統計モ戴イタノデアリマスガ、此小作料ト、家賃ト、地代トガ相當ノ件數ニ上ツテ居ルノデアリマス、而モ此小作料モ、地代モ、家賃モ何レモ定期限ノ債權デアリマスケラ、五箇年ノ時効デアルトハ當然デアリマシテ、五箇年ノ時効ニ依ツテ消滅スルモノヲ、確定判決ヲ得タカラト云ツテ十年ニスルト云フコトニ依リマシテ、全國的ニ小作料、或ハ地代、或ハ家賃ヲ支拂フベキ地位ニアル者ガ、五箇年間ノ債權ヲ延バサレルト云フコトニナリマシテハ、私ハ大キナ社會的意義ガアルト思フノデアリマシテ、判決ヲ受ケタノデアアルカラト云ツテ、延バスト云フヤウナコトニ付キマシテハ、私達ハ贊成ヲスル

デアリマス、今日事變、或ハ色々經濟情勢ナドカラ致シマシテ、債務者ニ對シテ之ヲ救済スルト云フヤウナ法案或ハ政治上ノ議論ナドガ今日澤山出テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ時勢ニ當リマシテ、短期時効デアツモノヲ、一様ニ十年ニセラレルト云フコトニ付テハ、其利益ヲ受ケマス者ハ債權者デアルト云フコトハ論ガ無イト思フノデアリマシテ、特ニ吾々ガ反對ノ意思ヲ此點ニ付テ表明致シタイノハ、一ツノ社會的意義ヲ有スル所ノ債權デアリマスル小作料、地代、家賃ニ付テ、私ハ少々ノ統計モ戴イタノデアリマスガ、此小作料ト、家賃ト、地代トガ相當ノ件數ニ上ツテ居ルノデアリマス、而モ此小作料モ、地代モ、家賃モ何レモ定期限ノ債權デアリマスケラ、五箇年ノ時効デアルトハ當然デアリマシテ、五箇年ノ時効ニ依ツテ消滅スルモノヲ、確定判決ヲ得タカラト云ツテ十年ニスルト云フコトニ依リマシテ、全國的ニ小作料、或ハ地代、或ハ家賃ヲ支拂フベキ地位ニアル者ガ、五箇年間ノ債權ヲ延バサレルト云フコトニナリマシテハ、私ハ大キナ社會的意義ガアルト思フノデアリマシテ、判決ヲ受ケタノデアアルカラト云ツテ、延バスト云フヤウナコトニ付キマシテハ、私達ハ贊成ヲスル

理由ヲ見出すコトガ出来ナイノデアリマス、此點ニ付テハ明ニ今日ノ時代ニ逆行スルモノデアル、小作料ニ付テモ、御承知ノ通りニ小作調停法案モ出テ、小作關係ヲ調整シヨウト云フ趣旨デアリ、又借地借家法モ全國ニ實施スベシト云フ建議案ナドモ出テ居ルノデアリマス、斯ノ如キ要求ト、斯ノ如キ世論デアアルニモ拘ラズ、今日時効ノ期間ヲ延バスト云フコトハ、私達ハ今日ノ時勢カラドウシテモ諒解スルコトガ出来ナイノデアリマス、別ニ今日時効ノ期間ヲ強ヒテ短縮シロトハ考ヘテ居リマセスケレドモ、時効ノ期間ヲ長クシロト云フ論ハ何處カラモ私達ニハ考ヘラレナイ、是ガ一ツノ反對ノ理由デアリマス

モウ一ツハ提出方法ニ付テデアリマシテ、今回ノ民法ノ改正案ニ出テ居リマスル他ノ二ツハ何レモ事務的ナ、極ク議論ノ無イ方法的ナ問題デアリマスガ、唯一ツ何故ニ權利ノ内容ニ關スル斯ウシタ問題ヲ此事務上ノ改正案ト一緒ニ抛リ込ンデ、茲ニ提出シナケレバナラナカッタカ、甚ダ私達ハ提出方法ニ付キマシテ遺憾ニ思フノデアリマシテ、政府デモ民法全體ニ付テノ改正案ガ計畫セラレテ居ルト云フノデアリマスカラ、何故ニ其時ニ權利ノ本質ニ關スル此問題ヲ讓ラ

ナカッタノカ、何故ニ斯ノ如キ手續上ノ問題ト一緒ニシテ此重大ナル權利ノ本質ニ關スル問題ヲ提出シタカ、其提出方法ニ對シテ私ハ甚ダ遺憾ノ意ヲ表スルノデアリマス、此二ツノ理由カラ、民法ノ改正案ノ中ノ百七十四條ノ二ノ條項ニ付キマシテハ、賛成ヲスルコトガ出来ナイト云フ反對ノ意思ヲ表明シテ、其他ニ付キマシテハ賛成ヲ致ス者デアリマス

○松永委員長 討論ハ是デ終了致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、先ヅ日滿司法事務共助法案及ビ其附帶決議ニ付テ採決ヲ致シマス、其前ニ附帶決議ヲ念ノ爲メ朗讀致シマス

附帶決議

- 一 勾引狀執行ノ共助ヲ受ケタルトキハ 刑事訴訟法人權尊重ノ精神ニ則リ本法第三條ヲ活用シ其ノ實ヲ擧クヘシ
- 二 前項ノ趣旨ヲ體シ速ニ明治四十四年法律第五十二號司法事務共助法案ニ本法ノ改正ヲ爲スヘシ

〔總員起立〕

○松永委員長 起立總員、仍テ可決確定致シマス——ソレカラ其次ハ民法中改正法案及ビ其希望條項ニ付テ採決ヲ致シマス、

此案ニ對スル希望條項ヲ朗讀致シマス

將來根本的ニ民法改正ノ際ハ短期時効制定ノ趣旨ニ鑑ミ第百七十四條ノ二ニ規定セル確定權利ノ時効期間ニ關シ相當考慮スヘシ

斯ウ云フ希望條項デアリマス、内藤君ノ發議ニ賛成ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○松永委員長 起立多數、仍テ本案ハ可決確定致シマス——其次ハ民事訴訟法中改正法案及ビ外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法案、之ヲ一括議題ニ供シマス、内藤君ノ發議ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○松永委員長 起立總員、仍テ發議ノ通り可決確定致シマス(拍手)本日ハ之ヲ以テ委員會ヲ終了致シマス
午後四時四十分散會

衆議院日滿司法事務共助法案外
三件委員會議錄第三回中正誤

頁	段	行	誤	正
二	二	九	中止ニナリマシタ時ニ、中止	休止ニナリマシタ時ニ、休止
同	同	二四	中止	休止
同	同	二二	中止	休止
四	二	一六	競馬	競賣

昭和十三年三月十三日印刷

昭和十三年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局